

## Contents

### ----- AIPPI Committees -----

#### ・ 議題 200 – Statutes Committee

Statute を改正するための 6 件の決議が通常総会において採択され、Regulation 改正の 8 件の決議が執行委員会で採択されたので、こうした数多くの変更がもたらす影響について、AIPPI の運営というより広い視野に立って説明することが必要だと思われます。採択された改正の概要を、短い記事で順に説明させていただきます。

*(Robert Mitchell, Chair of Q200)*

(英語版詳細 : <http://www.aippi.org/enews/2008/edition05/q200.html>)

#### ・ 議題 94 – GATT/WTO

議題 94 の Special Committee は、WTO および TRIPS 協定に関する課題を担当しています。ここでは当委員会の紹介と活動、WTO における最近の進展、特に TRIPS 関連の課題について報告させていただきます。

*(Ivan Hjertman, Chair of Q94)*

(英語版詳細 : <http://www.aippi.org/enews/2008/edition05/q94.html>)

### ----- 第 41 回ボストン総会レポート -----

#### ・ ソフトウェア保護の新たなアプローチ

ソフトウェア開発者は長年にわたり、著作権法を権利の保護と行使のための頼みの綱としていましたが、特許による保護と、フリーソフトウェア提唱団体に対する認知度の高まりにより、プログラマーはさまざまな手段を利用できるようになっています。

*(AIPPI Congress News, 2008 年 9 月 10 日号より)*

( 英 語 版 詳 細 : [http://www.aippi.org/enews/2008/edition05/congress-news\\_protecting-software.pdf](http://www.aippi.org/enews/2008/edition05/congress-news_protecting-software.pdf))

・ **Eco-Patent Commons** が批判に対して反論

Eco-Patent Commons は、環境を直接的、間接的に保護する技術の特許群を構築しようとするイニチアチブです。企業やその他の所有者が開放した特許を誰でも無料で利用できるようにします。環境に有益な手法で特定の課題に対処できた企業と、同様の課題に直面している企業をつなぐリソースになることを目指しています。

(*AIPPI Congress News*, 2008年9月10日号より)

( 英 語 版 詳

細 : [http://www.aippi.org/enews/2008/edition05/congress-news\\_eco-patent.pdf](http://www.aippi.org/enews/2008/edition05/congress-news_eco-patent.pdf))

-----  
今後の行事  
-----

・ 中欧・東欧知財セミナー

**EU 拡大から 5 年—2009 年 4 月 27 日、28 日、ワルシャワ**

知財分野の専門家の皆様に、中欧および東欧で起きている知財関連の問題についてのセミナーをご紹介します。今回WIPOも特別協賛として参加するこのセミナーは、知財の最新動向に焦点を当て、1999年以降、ポーランド、ウクライナ、ドイツの各国部会が共同で毎年春に開催しています。今年はワルシャワの国立図書館において、ポーランド特許庁の創立90周年式典の後に開催します。2日間にわたるセミナーの1日目は、特にEUにおける著作権および商標に関する最新動向に焦点を当て、2日目は、欧州における特許制度の展望に焦点を当てます。暫定プログラムは[こちら](#)からご覧になれます。

・ **AIPPI バルト海沿岸諸国会議—2009 年 9 月 2 日～5 日、タリン**

バルト海沿岸諸国の知的財産分野のリーダーたちは長年にわたり、各国から弁護士、弁理士、裁判官、科学者、技術者などを招いて、知財業務における最新の状況について意見を交換しています。この隔年の国際会議、2009年は6年ぶりにエストニアのタリンで開催します。

(*Urmas Kauler, Secretary of AIPPI Estonia*)

(英語版詳細 : <http://www.aippi.org/enews/2008/edition05/baltic-conference.html>)

・ **AIPPI フォーラム&執行委員会— 2009 年 10 月～11 日～14 日、ブエノスアイレス**

2009年AIPPIフォーラム&ブエノスアイレス執行委員会の実行委員会およびAIPPIアルゼンチン部会の会員は、開催に向けて準備作業を続けています。

(*Gastón Richelet, Communications Committee* メンバー/AIPPIアルゼンチン部会  
レポーター)

(英語版詳細 : <http://www.aippi.org/enews/2008/edition05/forum-exco-2009.html>)

AIPPIフォーラム&ブエノスアイレス執行委員会のスポンサーに関心のある方は、要項を掲載した[Sponsorship Prospectus](#)をご覧ください。

知的財産に関する会議の開催情報については、[AIPPI Master Calendar](#)をご覧ください。

---

## 各国部会

---

### ・PCT/マドプロ・セミナー—2008年11月4日、ブエノスアイレス

アルゼンチン工業所有権代理人協会 (AAAPI) が 2008 年 11 月 4 日に開催した、特許協力条約 (PCT) およびマドリッドプロトコルに対する南米の視点をテーマとしたセミナーについて報告させていただきます。このセミナーの会場でかつ主催者でもあるブエノスアイレスのアウストラル大学は、知的財産分野の修士課程や研究センターをはじめ、さまざまなコースを備えています。また、AIPPI アルゼンチン部会や国際弁理士連盟 (FICPI) アルゼンチン協会も、このセミナーを支援しました。午前のセッションでは、特許商標局 (INPI) や商務庁の幹部を含む約 70 名の参加者が、マドリッドプロトコルに対するブラジルの姿勢について学びました。

(*Sergio Ellmann, Assistant Secretary General of AIPPI*)

(英語版詳細 : <http://www.aippi.org/enews/2008/edition05/pct-seminar.html>)

### ・PCT 加盟後の特許出願件数の回復速度

2008 年 11 月 4 日、ブエノスアイレスのアウストラル大学において、AIPPI アルゼンチン部会をはじめとするさまざまな組織の支援を受け、PCT/マドプロ・セミナーが開催されました。筆者が参加できたのは午後のセッションのみですが、そこでは PCT を主題として、知財の実務者や他分野の専門家によるプレゼンが行われました。

(*Gastón Richelet, Communications Committee メンバー/AIPPI アルゼンチン部会 レポーター*)

(英語版詳細 : <http://www.aippi.org/enews/2008/edition05/recovery-rate.html>)

---

## 政府機関 & NGO

---

### ・第 14 回 ASIPI ワークセッションおよび運営理事会

2008 年 11 月 16 日～19 日、マイアミ

米州工業所有権協会 (ASIPI) の第 14 回ワークセッションおよび運営理事会が、2008 年 11 月 16 日から 19 日までフロリダ州マイアミで開催されました。おそらく 20 年ぶりに米国での開催となったワークセッションには、40 以上の国から約 700 名の参加がありました。

(*General Secretariat of AIPPI*)

(英語版詳細：<http://www.aippi.org/enews/2008/edition05/asipi-miami.html>)

---

## 記事・解説

---

### ・コンピュータプログラム自体の除外—EPO 拡大審判部に対する質問状

欧州特許庁 (EPO) 長官は先ごろ EPO 拡大審判部に対し、欧州特許条約 (EPC) 第 52 条に定めるコンピュータプログラム自体の排除の適用に関する法律上の解釈について質問を提出しました。

その理由は、拡大審判部における過去 10 年間の判決内容に相違が見られるためであり、EPC 第 52 条(2)および(3)の解釈に関する 4 つの質問があります。

議題 132 のメンバーは現在、これらの質問について調査し、AIPPI として第三者の意見書 (アミカス・キュリエ) を提出する選択肢について検討しています。

(*José Antonio B.L. Faria Correa, Chair of Special Committee Q132*)

(英語版詳細：<http://www.aippi.org/enews/2008/edition05/referral-epo.html>)

Thomas Kretschmer 氏のレポート全文は[こちら](#)。

### ・スペイン—共同体における将来的な工業意匠の法的保護の改正に関する進展：スペアパーツ

2007 年 12 月 12 日、欧州議会は「意匠の法的保護に関する指令 98/71/EC」を改正するための共同体プロジェクトを推進する決定をしました。複雑な製品の外観を復元するためのスペアパーツの設計に関する問題は未解決のままであり、特に自動車などの工業部門はもとより、固定資産や消費財の製造分野においても懸念材料となっています。

(Pedro Merino Baylos – Estudio Jurídico Baylos, マドリッド)

(英語版詳細: <http://www.aippi.org/enews/2008/edition05/industrial-design.html>)

#### ・スペインインターネット上の著作物へのアクセスに関する著作権の評価と、関係する利用権

スペインのバルセロナ地方裁判所で知財を専門に扱う第 15 部は、著作権の問題を審査し、著作者の排他的権利を侵害することなくウェブ上の作品にアクセスできるようにするため、どのような権利を明示的に付与すべきかについて述べました。この紛争は、権利者の著作物である IT マニュアルの翻訳を使用するための複製物使用許諾契約が権利者企業との間で締結され、それらの契約に署名した共同被告が他の被告に当該 IT マニュアルを提供し、特定のインターネットポータルにアップロードできるようにしたこと

に起因しています。

(María Baylos – Estudio Jurídico Baylos, マドリッド)

(英語版詳細: <http://www.aippi.org/enews/2008/edition05/works-on-internet.html>)

---

#### フィードバック

---

今号に掲載されたさまざまなトピックについて、**AIPPI Blog** ([mail.aippi.org/blog](mailto:mail.aippi.org/blog)) で意見交換することができます。

会員のみなさんからのご意見・ご感想をお待ちしております。e-News あるいは AIPPI に関して気づいた点などありましたら、[enews@aippi.org](mailto:enews@aippi.org) までメールでお寄せください。

---

#### 寄稿のお願い

---

e-Newsに掲載する記事を読者のみなさんから募集しています。寄稿の際には、e-News の編集ポリシー / ガイドライン ([http://www.aippi.org/enews/2008/edition05/editorial\\_policy-guidelines.html](http://www.aippi.org/enews/2008/edition05/editorial_policy-guidelines.html)) に準拠していただくようお願いします。

e-News は、AIPPI (国際知的財産保護協会) が隔月で出版するニュースレターです。  
AIPPI General Secretariat | Toedistrasse 16 | CH-8027 Zurich | Tel. +41 44 280 58 80 |

Fax +41 44 280 58 85 | [enews@aippi.org](mailto:enews@aippi.org) | [www.aippi.org](http://www.aippi.org)

今号の作成者 : AIPPI General Secretariat、Maria Bratsos

作成協力 : AIPPI Deputy Secretary General、Stephan Freischem

編集／出版チーム :

Chair : Esmé du Plessis

Members :

Alan J. Kasper

Sergio M. Ellmann

Raffaella Arista

Rainer Beetz

Charters J. Macdonald-Brown

Sun-Ryung Kim

Martin Michaus

Teresa O'Connor

Hiroyuki Suda

-----  
免責事項 :

AIPPI は伝達する情報の正確性を期すべくあらゆる努力をしていますが、これらの情報は、特定の資格を有する専門家の助言に代わるものとみなされるものではありません。AIPPI は、インタビューで表明された意見やウェブの外部リンクを介して提供される情報に対しては一切責任を負いません。